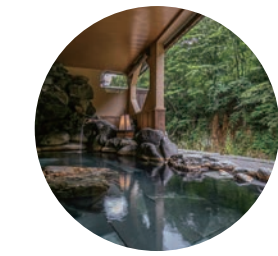


見ざる 言わざる 聞かざるじゃあ もったいねえ!

こでらんねえ栃木県

第41回 地域づくり団体 全国研修交流会 栃木大会



那須塩原市分科会

扇状地に広がる自然とコミュニティで
沸き起こるアートなまち

日光市分科会

繁栄の「光と影」から掘り起こす、
地域資源の活かし方

鹿沼市分科会

『シニア サポート モビリティ』と
『耕作放棄地で生まれる
至極の慈しみそば』

佐野市分科会

浅草発、さのちゃり!!

足利市分科会

「歴史と文化と花のまち足利」が
挑む里山資源を生かした
地域づくり

栃木市分科会

地域の「く」「の」「まなぶ」をつなぐ
「わ」のまち栃木市

小山市・下野市分科会

「何もない!」から始まった
地域づくりのアレやコレ!!

大田原市分科会

古代から現代へ 人が輝く
生涯活躍できるまちづくり

矢板市分科会

矢板市が挑む!
資源再活用 of これからの
新しい地域づくり

那珂川町分科会

世界でただ一つの陶芸に
チャレンジ・農家民泊、
棚田オーナークラブで地域づくり

宇都宮市分科会

「大谷石(おおやいし)」を
中心とした観光地域づくり

茂木町分科会

里山の恵みを活かしたまちづくり
「しあわせの、自給自足」

真岡市分科会

人づくり×つながりづくり×地域づくり
～「まちつく」の取組から～

【お問い合わせ】

第41回地域づくり団体全国研修交流会
栃木大会実行委員会事務局(栃木県総合政策部地域振興課内)
〒320-8501 栃木県宇都宮市埴田1-1-20
TEL:028-623-2257



[主催] 地域づくり団体全国協議会 第41回地域づくり団体全国研修交流会栃木大会実行委員会

見ざる 言わざる 聞かざるじゃあ もったいねえ!

こでらんねえ栃木県

参加者募集の
ご案内

栃木県

開催日程

令和7年

11/7(金)

分科会(県内13会場)

11/8(土)

[午前] 分科会(県内13会場)

18:00 全体交流会

(ライトキューブ宇都宮)

11/9(日)

[午前] 全体会

(栃木県総合文化センター)



第41回地域づくり団体全国研修交流会
栃木大会

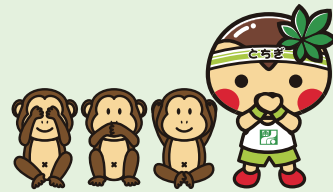
栃木

魅どころ紹介 栃木の魅力的な見どころをご紹介します



日光の社寺
〔日光市〕

1999年(平成11年)に世界遺産に登録された「日光の社寺」。日光山内にある日光東照宮、日光山輪王寺、日光二荒山神社の103棟(国宝9棟、重要文化財94棟)の「建造物群」と、これらの建造物群を取り巻く「遺跡(文化的景観)」の総称です。



茶臼岳
〔那須町〕

茶臼岳山麓は、夏は緑が鮮やかで、秋は美しい紅葉が見られます。ロープウェイで山頂駅まで登ると、約40分から50分で山頂につきます。天候によっては、雲海を見ることができ、その幻想的な風景に目を奪われます。家族連れや初心者でも気楽に登山を楽しむことができます。



日光杉並木
〔日光市〕

全長37kmにわたって約1万2000本もの杉の木が立ち並ぶ並木道。高さ30mまで成長した杉が鬱蒼と立つ様子は一見の価値あり。江戸時代の旅人になった気分です歩いてみませんか。



大雄寺
〔大田原市〕

かつて大田原市周辺を治めていた黒羽藩の藩主、大関家の檀那寺で、600年以上の歴史をもつ曹洞宗の禅寺です。



蔵の街
〔栃木市〕

江戸時代から日光例幣使街道の宿場町として、また、江戸との舟運で栄えた問屋町として北関東の商都と呼ばれていました。今も街なかには、黒塗りの重厚な見世倉や白壁の土蔵群などが残っています。



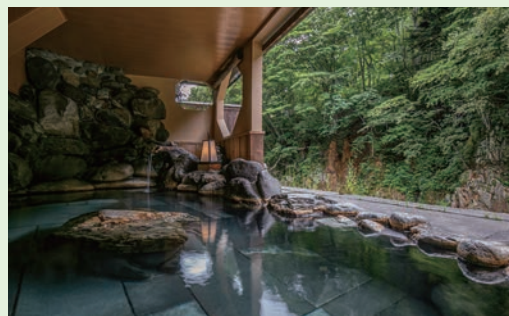
渡良瀬遊水地
〔栃木市・野木町〕

日本最大の遊水地であり、様々な生き物が生息する渡良瀬遊水地は、自転車で巡るのがおすすめです。サイクリングの他、熱気球やスカイダイビング、カヌーなど様々なアクティビティで身体を動かしてリフレッシュ。



モビリティリゾートもてぎ
〔茂木町〕

モータースポーツだけでなく、広大な自然を活かした体験プログラムやアクティビティが楽しめます。グランピングができるキャンプ場や大浴場併設のホテルもあり、ファミリーで1日中過ごせます。



塩原温泉郷
〔那須塩原市〕

開湯1200年の歴史があり、150以上もの源泉から6種類の泉質、「透明」「乳白色」「緑白色」「黄金色」「茶褐色」「黒色」「薄墨色」7色の温泉が毎分約1万リットルもの湯量で湧き出し、「温泉の宝石箱」と呼ばれています。



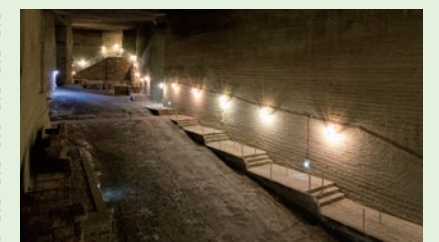
史跡足利学校
〔足利市〕

フランシスコ・ザビエルにより、「日本国中最も大にして最も有名な坂東の大学」と世界に紹介された「日本最古の学校」です。2015年4月日本遺産に認定されました。



大谷資料館
〔宇都宮市〕

大谷石の採掘の歴史がわかる資料館であり、思わず圧倒される巨大な坑内地下空間は古代遺跡のようであり神秘的な雰囲気も特徴の一つです。ライトアップや期間限定などのイベントも開催されているため、毎回違う大谷資料館を味わうことができます。





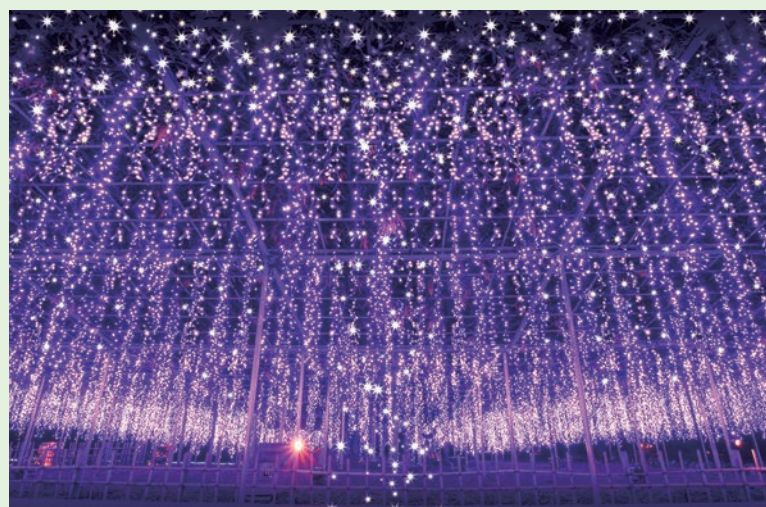
芳賀・宇都宮LRT「宇都宮市・芳賀町」

栃木県・宇都宮エリアでは次世代型路面電車「芳賀・宇都宮LRT」が2023年8月26日に開業しました。LRTとは、「Light Rail Transit」の略称で、宇都宮駅東口から芳賀町の「芳賀・高根沢工業団地」の14.6kmを結びます。



馬頭広重美術館「那珂川町」

歌川広重の肉筆画や版画、浮世絵などのコレクションを展示する美術館。肉筆画の中でも「江都八景」「富士十二景」などの重要作品も展示。隈研吾氏設計の建築と併せて、アート鑑賞の時間をゆっくり過ごせます。



あしかがフラワーパーク「足利市」

樹齢160年におよぶ大藤と四季折々の花が楽しめる「花と光の楽園」。春は600畳敷きの藤棚を持つ大藤や、長さ80mもの白藤のトンネル、きばな藤など350本以上の藤が咲き誇り観るものに感動を与えます。10月中旬～2月中旬にかけては日本三大イルミネーションに認定されている「光の花の庭」も見所。



技巧に感動！ とちぎの伝統工芸

〔日光市〕日光彫

日光彫は、線を彫るための独特の道具「ヒッカキ」という刃物を使うのが特徴で、通常の三角刃と異なり、先端を折り曲げた「キリダシ」を手前に引いて彫りだします。



〔小山市〕結城紬

江戸時代に流行した高級絹織物で、国の重要無形文化財にも指定されています。20以上の伝統的な工程を、すべて手作業で行う結城紬は、柔らかな風合いと独特な渋みがあり、世界に誇れる日本の伝統工芸品です。



〔益子町〕益子焼

江戸時代の終わりから長い歴史を持つ益子焼は、土の質感が残るぼてりとした風合いが魅力的。益子町にはたくさんの陶芸家が集まり、バラエティ豊かな作品と出会えます。春と秋に開かれる陶器市でお気に入りの探してみましょう。



〔真岡市〕真岡木綿

真岡市で栽培される良質な綿花を使った真岡木綿。丈夫で質が良く、絹のような肌触りで、江戸時代には絶大な人気を得ました。現在は日常で使いやすいアイテムも多く販売中です。



MADE IN 栃木の 酒

栃木が誇る 54の酒造メーカー

栃木県は、美しい山々から流れ出る清らかな水と、肥沃な大地で育まれる良質な米、麦などの農産物に恵まれ、日本酒や焼酎、ビール、ワインなど、50を超える酒造メーカーが集まる酒どころ。「うまい酒をつくろう」という情熱をもったこだわりの職人たちが、それぞれの個性を生かした酒づくりに日々励んでいます。そんな栃木県で生み出される酒は、国内はもちろん、海外の品評会でも数々の賞を受賞し、その高い品質が認められています。世界に誇る栃木の酒を、ぜひお楽しみください。



豊かな自然に育まれた清らかな水



栃木県は、日光・那須連山をはじめとする美しい山々に囲まれ、それらを源流とする鬼怒川、那珂川、渡良瀬川など豊かな水源を有しています。「全国名水百選」に選ばれた尚仁沢湧水や出流原弁天池湧水など名水も数多く、酒づくりの命と言われる良質な水に恵まれています。



県オリジナル 酒造好適米「夢ささら」

「夢ささら」は、県内の蔵元から要望を受けた栃木県が、13年の歳月をかけて2017年に開発した酒米。「心白」と呼ばれる米の中心部分がはっきりしており、また、玄米を削る際に砕けにくいいため、大吟醸酒の醸造に適しています。



全国有数の生産量を誇る 二条大麦(ビール麦)

栃木県は、ビールの原料となる二条大麦の生産量が全国トップクラス。その高い品質も認められ、全国の手ビールメーカーで使われる一方、県内クラフトビールメーカーによる上質な地ビールづくりを支えています。



カクテルの街 宇都宮

カクテル技能競技の全国大会で、数多くの優勝者を輩出してきた宇都宮。ここでは、日本を代表するバーテンダーたちが毎夜腕を競い合っています。





いちご王国・栃木

「いちご王国・栃木」には、とちあいかをはじめとする県オリジナル品種の完熟イチゴをその場で摘んで味わうことができる観光いちご園がたくさんあります！豊かな自然に恵まれた栃木の県央部から南部に広がる関東平野の肥沃な大地は日光や那須、そして八溝山地に発するきれいな水が生み出したものです。そんな風土に加え、冬の日照時間が長く、昼と夜の寒暖差が大きいという気候特色があります。実は、これがいちごの生育にぴったり。こうした自然環境も「いちごの収穫量日本一」の基盤となっています。

多種多様な特徴が自慢！とちぎのいちご品種紹介



とちあいか

「いちご王国」の新品種いちご。酸味が少なく甘さが際立ちたくさん食べたいいちごです。



とちおとめ

味が濃く、果汁たっぷりの味わい、甘みと酸味のバランスのとれた果肉が特徴。

とちひめ
栃木県内の観光いちご園でのみ食べることのできる幻のいちご。大粒で皮が柔らかく、ジューシーで甘みが強いです。



なつおとめ
夏場に収穫できるいちごで、酸味が強く、縦に切ると中心が赤いハート型になるのが特徴。



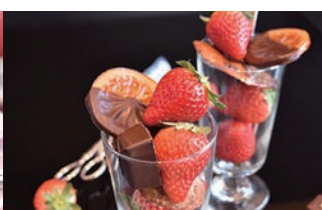
スカイベリー

大粒できれいな色と形、ジューシーで上質な味わいの“ハレの日いちご”です。



ミルキーベリー

ミルクのように白い「いちご王国」初の白いちご。酸味が少なく、独特のまろやかな食感と甘さが特徴。



うまい！ご当地名産品

【宇都宮市】宇都宮餃子®

宇都宮は「餃子のまち」として知られ、市内には様々なお店が並びます。お店によって大きさや具材、つけだれが異なり、個性豊かな味が楽しめます。焼餃子のほかにも、揚げ餃子、水餃子も要チェックです。



【下野市】かんぴょう

下野市はかんぴょうの名産地として知られ、生産量日本一です。生産量は全国の約53%を誇り、かんぴょうを使用した加工食品や老舗の銘菓などお土産にも人気です。

【栃木県】とちぎ和牛

とちぎ和牛は、県内の指定された生産者が丹精込めて育てた黒毛和牛のうち、品質の格付が上位の限られたもののみに与えられるブランドです。きめ細かい霜降り肉は、柔らかく風味が豊かです。



フルーツ盛りだくさん！

【矢板市】りんご

栃木県内No.1の生産量である矢板市のりんごは、蜜がたっぷり入るまで、じっくりと樹の上で熟させる「樹上完熟」が特徴です。10～11月にかけては、りんご狩りのシーズンを迎え、自分の手で樹から収穫して食べる喜び、穫れたてならではのみずみずしさを堪能できます。



【茂木町】ゆず

寒暖差のある気候で育つ茂木町のゆずは、皮が厚く果汁が凝縮されていて香りが良いのが特徴です。「ゆず塩らーめん」や様々な加工品も人気です。



【栃木県】なし

宇都宮市、芳賀町、大田原市を中心に、県内全域で生産されている梨。幸水や豊水をはじめ、栃木県のオリジナル品種「にっこり」「おりひめ」など多彩な品種が栽培されており、その生産量は全国第3位を誇っています。



【栃木市】ぶどう

観光農園の規模としては北関東最大の「大平ぶどう団地」や出荷量としては北関東最大の「岩舟エリア」では、大地と太陽の恵みをたっぷり受けた巨峰をはじめ、シャインマスカット、ハニービーナス等種類も豊富で、豊かな甘みとみずみずしさが自慢です。



【佐野市】佐野らーめん

佐野市を中心に食べられているご当地ラーメン。あっさりとしたしょうゆベースの澄んだスープと青竹で打って伸ばす「青竹打ち」で作られたちぢれ麺が特徴。市内にはたくさんのお店が軒を連ねます。



【鹿沼市】シウマイ

崎陽軒創業者の野並茂吉氏が鹿沼市出身であることから、様々なお店で「かめまシウマイ」を販売し街を盛り上げています。個性豊かなシウマイと関連グッズも人気です。



CONTENTS

Welcome to TOCHIGI

栃木の見どころ……………	1
栃木の見どころ・伝統工芸……………	3
栃木の酒……………	4
いちご王国・名産品……………	5

第41回地域づくり団体 全国研修交流会 栃木大会について

栃木大会 開催要領……………	7
栃木大会 全体プログラム……………	9
栃木県までのアクセス……………	10

分科会一覧

宇都宮市分科会 「大谷石（おおやいし）」を中心とした観光地域づくり……………	11
足利市分科会 「歴史と文化と花のまち足利」が挑む里山資源を生かした地域づくり……………	12
栃木市分科会 地域の「くう」「のむ」「まなぶ」をつなぐ「わ」のまち栃木市……………	13
佐野市分科会 浅草登、さのちゃり!!……………	14
鹿沼市分科会 『シニア サポート モビリティ』と『耕作放棄地で生まれる至極の慈しみそば』……………	15
日光市分科会 繁栄の「光と影」から掘り起こす、地域資源の活かし方……………	16
小山市・下野市分科会 「何もない!」から始まった地域づくりのアレやコレ!!……………	17
真岡市分科会 人づくり×つながりづくり×地域づくり～「まちつく」の取組から～……………	18
大田原市分科会 古代から現代へ 人が輝く生涯活躍できるまちづくり……………	19
矢板市分科会 矢板市が挑む!資源再活用 of これからの新しい地域づくり……………	20
那須塩原市分科会 扇状地に広がる自然とコミュニティで沸き起こるアートなまち……………	21
茂木町分科会 里山の恵みを活かしたまちづくり「しあわせの、自給自足。」……………	22
那珂川町分科会 世界でただ一つの陶芸にチャレンジ・農家民泊・棚田オーナークラブで地域づくり……………	23

お申込等・ご案内

お申込手続きの流れ／参加申込・お問い合わせ先……………	24
コース・旅行代金一覧／申込後の変更・取消について……………	25
大会2日目[11月8日(土)]宿泊のご案内……………	26
宇都宮駅周辺MAP／交通アクセス……………	27



栃木

開催要領

1. 開催趣旨

全国の地域づくり団体や行政関係者が一堂に会し、自主的・主体的な地域づくりに資する全国レベルの研修や情報交換を行うとともに、栃木県の多彩な地域づくりを全国に発信することを通して、県内外の地域づくりネットワークの強化・活性化を図ることを目的に、地域づくり団体全国研修交流会栃木大会を開催します。

2. 大会テーマ

見ざる 言わざる 聞かざるじゃあ もったいねえ! ～こでらんねえ 栃木県～

3. 主催

地域づくり団体全国協議会
第41回地域づくり団体全国研修交流会栃木大会実行委員会

4. 後援

総務省
一般財団法人地域活性化センター
公益財団法人 栃木県市町村振興協会

5. 開催日時

令和7(2025)年11月7日(金)～11月9日(日)
○分科会:11月7日(金)～11月8日(土)16:00頃まで
○全体交流会:11月8日(土)18:00～20:00
○全体会:11月9日(日)10:00～12:00

6. 開催場所

○分科会:栃木県内13会場
○全体交流会:ライトキューブ宇都宮中ホール(宇都宮市宮みらい1-20)
○全体会:栃木県総合文化センター特別会議室(宇都宮市本町1-8)

7. 参加対象者

全国の地域づくり団体関係者、行政関係者、地域づくりに関心がある者等

8. 大会参加費

○大会参加費:3,000円
○全体交流会費:8,000円
○分科会参加費:14,500円～21,500円(分科会によって異なる/25ページ参照)
○宿泊費[11月8日(土)]:11,000円～12,000円(施設によって異なる/26ページ参照)
※11月8日(土)の宿泊ご希望の方は、大会申込サイト〈ホテル予約フォーム〉よりお申込みください。先着50名様のお部屋を御用意しております。
※お申込みについて、詳しくは右ページ・24ページもご覧ください。

9. 申込受付期間

令和7年7月1日(火)9:30～8月18日(月)23:59



見ざる 言わざる 聞かざるじゃあ もったいねえ! ～こでらんねえ 栃木県～



10. 参加申込方法

- インターネットまたはFAX申込みとなります。
FAX申込の場合は、栃木大会申込サイトよりFAX申込用紙をダウンロードしてご利用ください。
スマートフォンにて右記二次元コードからアクセス
パソコンの方は以下URLから(申込みフォーム)アクセス
<https://sec.tobutoptours.co.jp/web/evt/chiiki-tochigi/>
- 相互交流を図るためにも、県や団体等でまとめて分科会にお申込みされる際には、できるだけ同一の分科会に偏らないよう、分散してのお申込みご協力をお願いします。
- 変更及び取消は、申し込みサイト「予約確認・変更」ページよりご自身にて手続きをお願いいたします。
- FAXでお申し込みの方は、FAX書面でお申し出ください。
- 申し込み受付期間後8月19日以降は、お問い合わせフォーム、メール、FAXで変更・取消の旨をお申し出ください。
- 電話での受付はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- インターネット接続ができない場合は、個別に事務局までお問い合わせください。



〈栃木大会参加申込事務局〉東武トップツアーズ株式会社 宇都宮支店
住所:〒320-0026 栃木県宇都宮市馬場通り2-1-1 メットライフ宇都宮スクエア5F
TEL:050-9001-8727 / FAX:028-636-7760
メールアドレス: chiiki_tochigi@tobutoptours.co.jp
営業時間:9:30～17:30(休業日:土・日・祝日)／担当者:鈴木・新井・土方

11. 参加者の決定

申込み締め切り後(段階的に7月下旬から9月中旬までを予定)分科会決定通知および登録番号、請求書面をご登録メールに送付いたします。

12. 大会参加費等の支払方法と取消規定

大会参加費等のお支払いは、銀行振込もしくはクレジット決済よりご選択いただけます。指定口座への振込に必要な手数料は、参加者のご負担となります。参加申込の取消に伴う大会参加費等の取消料は、以下のとおりです。

取 消 日	取 消 料
旅行開始日の前日から起算して遡って20日目から8日目まで	旅行代金の20%
旅行開始日の前日から起算して遡って7日目から2日目まで	旅行代金の30%
旅行開始日前日の解除	旅行代金の40%
旅行開始日当日の解除	旅行代金の50%
旅行開始後の解除又は無連絡不参加	旅行代金の100%

※取消にかかる起算日は、大会参加費及び分科会参加費は分科会開始日前日(11月6日)、全体交流会費にあたっては全体交流会前日(11月8日)、11月8日の宿泊に当たっては宿泊日前日(11月7日)からとします。
※返金に際しましては、払い戻し額から取り消し料及び振込手数料を差し引いて返金させていただきます。
※領収書に関しましては、入金確認後、確定書面とともにメールいたします。

栃木

第41回地域づくり団体全国研修交流会栃木大会 栃木大会全体プログラム

[全体スケジュール]

令和7年
11月7日(金)～
11月8日(土)
16:00頃
分科会(県内13会場)

移動
(バス)



令和7年
11月8日(土)
18:00～20:00
全体交流会
(ライトキューブ宇都宮)

宿泊
(各自移動)



令和7年
11月9日(日)
10:00～12:00
全体会
(栃木県総合文化センター)

[分科会]

開催日:令和7(2025)年11月7日(金)～11月8日(土)16:00頃

場 所:県内13会場

内 容:各分科会会場において、個性あふれる地域づくり活動の体験や、全国からの参加者と意見交換等を行います。

第1分科会(宇都宮市)

第2分科会(足利市)

第3分科会(栃木市)

第4分科会(佐野市)

第5分科会(鹿沼市)

第6分科会(日光市)

第7分科会(小山市・下野市)

第8分科会(真岡市)

第9分科会(大田原市)

第10分科会(矢板市)

第11分科会(那須塩原市)

第12分科会(茂木町)

第13分科会(那珂川町)

[全体交流会]

開催日:令和7(2025)年11月8日(土)18:00～20:00

場 所:ライトキューブ宇都宮 中ホール(宇都宮市宮みらい1-20)

内 容:全国からの参加者と、各地域における課題等について意見交換を行います。

【プログラム】○開会あいさつ

○歓迎あいさつ・乾杯

○交流

[全体会]

開催日:令和7(2025)年11月9日(日)10:00～12:00

場 所:栃木県総合文化センター 特別会議室(宇都宮市本町1-8)

内 容:各分科会の開催結果の報告を通して、全体での情報共有・意見交換を行います。

【プログラム】○開会あいさつ

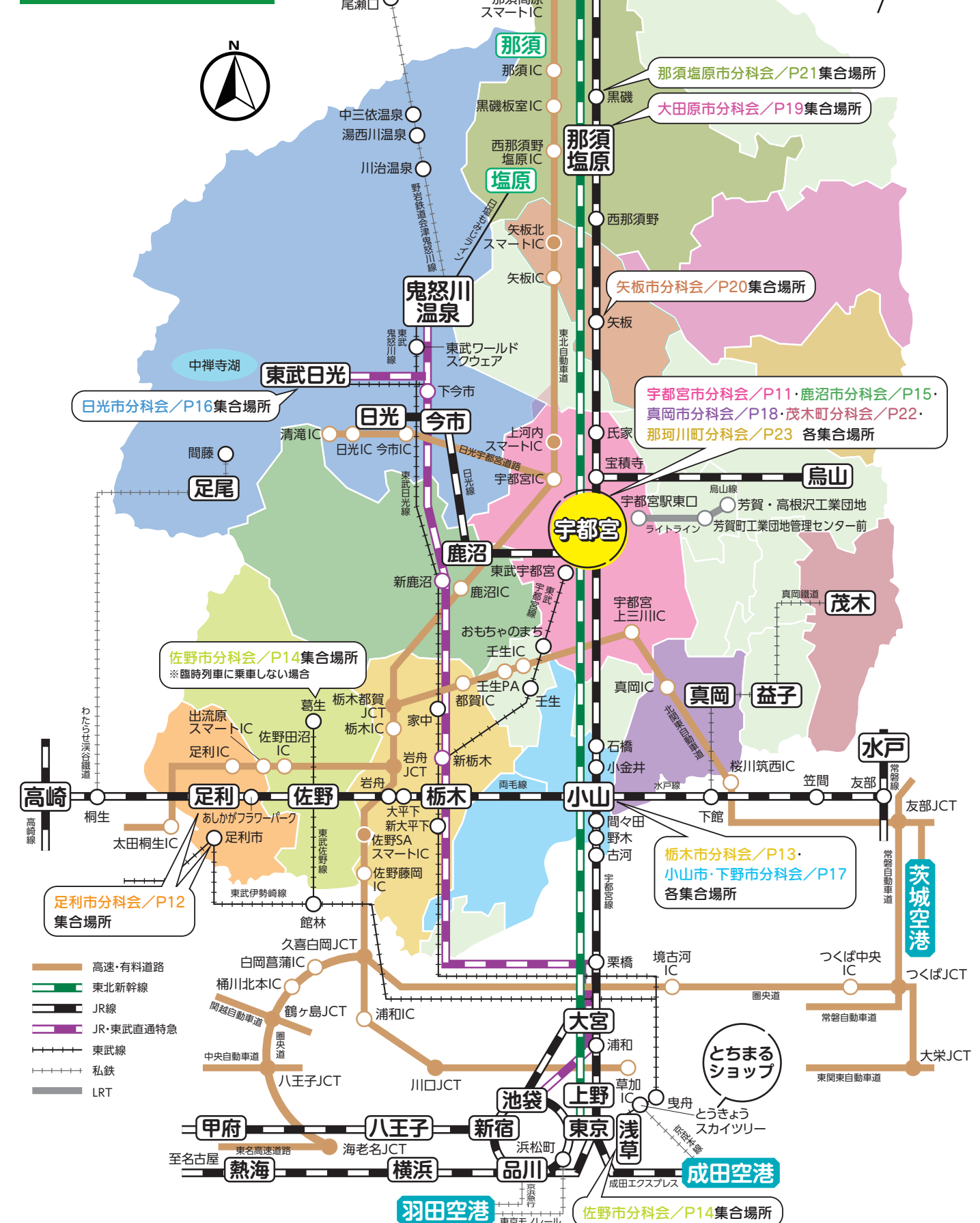
○分科会開催報告(13分科会)

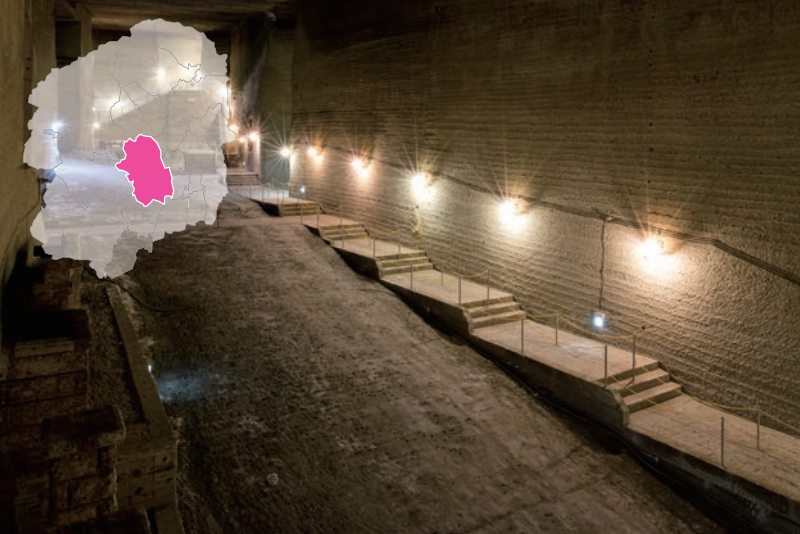
○次回開催県からのPR

○閉会あいさつ

栃木県までの アクセス

ACCESS





第1分科会 宇都宮市

【分科会会場】

大谷コネクト、大谷資料館、カネホン採石場、元気炉 ほか

【宿泊場所】

ダイワロイネットホテル宇都宮

【募集人数】 20人

【参加者経費】 21,500円

【分科会スケジュール】

1日目

- 13:00 JR宇都宮駅改札口集合
- 13:40 活動紹介
- 15:00 グリーンスローモビリティ（電気自動車）乗車体験
- 15:15 大谷資料館見学
- 17:00 パネルディスカッション
- 18:00 交流会（地域各店の味が集結）

2日目

- 8:30 ホテル出発
- 9:00 奇岩群を巡る徒歩ツアー
- 10:30 カネホン採石場見学
- 11:30 昼食
- 12:30 現代アート見学（元気炉）
- 13:30 大谷石絵付け体験
- 15:00 キジハジメテナク見学
- 16:00 陶芸体験
- 18:00 全体交流会

※諸事情によりスケジュールは変更になる場合があります。

「大谷石（おおやいし）」を中心とした観光地域づくり

●分科会内容

宇都宮市の中心部から北西約8kmに位置する大谷地域は、古くから建材として幅広い用途で使用され、旧帝国ホテル本館（現ライト館）にも用いられた大谷石の採掘地として発展してきた地域です。現在では大谷石を中心とした歴史や伝統・文化を活かした、アート系事業や飲食事業など、新たな取組も広がっています。

本分科会は、地元事業者らが中心となって構成する「NPO法人 大谷商工観光協会」のメンバーを中心に、地域での夏祭りを約半世紀ぶりに復活させるなど、様々な取組を実施してきた中での地域づくりの思いや活動内容を紹介するほか、大谷地域でしか見られない観光資源を実際にご覧いただくなど、大谷にしかない特別な魅力を体験していただけるような内容となっています。



NPO法人
大谷商工観光協会
平野 歩 さん

●参加に係る注意点

- ▶ 徒歩で大谷地域を散策するため、動きやすい服装と履き慣れた靴でお越しください。
- ▶ 雨天時に備え、雨具と合羽もご用意ください。
- ▶ 地下採石場が冷え込むため、寒さ対策をお願いします（9℃～10℃）

●地域の特徴

宇都宮市は栃木県のほぼ中央に位置し、「餃子のまち」として全国的なイメージがあるほか、「プロスポーツのまち」として現在3つのプロスポーツチームが拠点として活動しています。また、全国初の全線新設で注目され、公共交通ネットワークの柱となる次世代路面電車「LRT」が開通するなど、様々な魅力がある市となります。



カネホン採石場



芳賀・宇都宮LRT（ライトライン）

「歴史と文化と花のまち足利」が挑む里山資源を生かした地域づくり

●分科会内容

本分科会では、1日目に足利市が誇る歴史遺産や観光資源をご紹介します。室町幕府を創設した足利氏の発祥の地、日本最古の学校のあるまち、織物で栄えたまち、文化の薫るまちを、現地見学を通じて体感いただきます。また、夜にはイルミネーション全国1位を誇る「あしかがフラワーパーク」の幻想的なライトアップをご覧ください。

2日目は、豊かな自然に恵まれた市北部エリアにおいて、この土地ならではの環境を活かした地域資源の掘り起こしによる新たな魅力づくりに挑む取組について、ご紹介します。わら細工やイワナ釣りを名草地区で体験いただくほか、九州・沖縄サミットなどでも振舞われたワインを製造するワイナリーでの地域活動をご覧ください。

足利市の魅力を幅広く感じていただけるプログラムとなっていますので、ぜひご参加ください。



名草craft
代表
後藤 芳枝 さん

●参加に係る注意点

- ▶ 動きやすい服装・靴で活動していただきます。
- ▶ 雨天時に備え、雨具や合羽などもご用意ください。
- ▶ 当日は、東武足利市駅又はJR足利駅のどちらかに集合してください。

●地域の特徴

足利市は、日本遺産「史跡足利学校」や、国宝「鏝阿寺本堂」など、多くの文化財が点在する「歴史と文化と花のまち」として親しまれています。

かつては織物の生産高が全国一位を誇る「織物のまち」としても知られ、現在では「あしかがフラワーパーク」や「足利織姫神社」などが人気で、日帰りハイキングや和菓子店・カフェ巡りも楽しめるなど、多彩な魅力にあふれたまちです。



史跡足利学校



COCO FARM & WINERY

第2分科会 足利市

【分科会会場】

史跡足利学校・鏝阿寺（ばんなじ）、あしかがフラワーパーク、名草イワナパーク、COCO FARM&WINERY ほか

【宿泊場所】

ホテルルートイン足利駅前

【募集人数】 20人

【参加者経費】 18,900円

【分科会スケジュール】

1日目

- 11:45 東武足利市駅集合・出発
- 12:00 JR足利駅集合・出発
- 12:20 アイスブレイク・昼食
- 14:00 【見学・散策】史跡足利学校、鏝阿寺
- 17:00 【見学】大久保分校
スタートアップミュージアム
- 17:45 【座学・散策】あしかがフラワーパーク
- 18:50 【交流会】あしかがフラワーパーク

2日目

- 9:00 ホテル出発
- 9:30 【体験】名草craftセンター
- 11:00 【体験・座学・昼食】
名草イワナパーク、名草キャンプ村
- 13:30 【見学】COCO FARM&WINERY
- 18:00 全体交流会

※諸事情によりスケジュールは変更になる場合があります。



第3分科会 栃木市

【分科会会場】

太平山南山麓エリア、
嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区、
蔵の街・巴波川エリア ほか

【宿泊場所】

栃木グランドホテル

【募集人数】 20人

【参加者経費】 19,000円

【分科会スケジュール】

1日目

- 13:00 JR小山駅東口集合・出発
- 13:30 地元市民団体による
焼きいも談義と紙芝居
七ふしぎオーナー制度の紹介
- 15:00 おおひら世間遺産めぐり
- 16:00 里山観光拠点の保全活動
紹介
- 17:00 ホテルチェックイン
- 18:00 交流会

2日目

- 8:30 栃木市役所集合
- 9:00 伝建地区散策・活動紹介
- 11:30 とちぎ江戸料理(昼食)
- 13:00 蔵の街遊覧船乗船
- 13:30 テーマ別(建物・歌麿・高校生)
まち歩き
- 16:00 蔵の街第1駐車場集合
- 18:00 全体交流会

※諸事情によりスケジュールは変更になる場合があります。

地域の「く」「のむ」「まなぶ」を つなぐ「わ」のまち栃木市

●分科会内容

1日目は、全国有数のビール麦の生産量を誇り、ぶどうの栽培が盛んな大平地域にて、ビール麦の契約栽培を広めた田村律之助の功績を子どもたちに広めようと活動する「田村律之助顕彰会」の活動報告や、地域の歴史や思わず人に伝えたい、おおひらのスキ♡ドキッ!を発信する『おおひら「世間」遺産プロジェクト』をご紹介します。夜の交流会では、ご当地ビールと地場産ワインをご堪能いただけます。

2日目は、栃木県唯一の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている嘉右衛門町伝建地区で、活動するNPOの取り組みや、まち歩きをしながら若い世代による空き家・店舗・蔵の利活用を紹介します。今もなお、江戸情緒が残る蔵の街・巴波川沿いエリアを歩きながら、歴史を生かした栃木市のまちづくりを市民団体協力のもと体験していただけます。

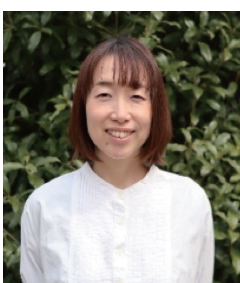
古くは川と道を人々が行き交った栃木市内の二つの地域において、今もなお「わ(和・輪・話)」をもって繋ぐ「く」「のむ」「まなぶ」を堪能ください。

●参加に係る注意点

- ▶ 散策等がありますので動きやすい服装と履き慣れた靴でご参加ください。

●地域の特色

栃木市は、江戸時代に江戸との舟運や、京都からの日光東照宮への勅使が通る街道の宿場町として繁栄を遂げました。明治期には県庁が置かれ、「栃木県発祥の地」として、歴史や文化を礎とした農商工のバランスのとれたまちづくりが進められました。現在も中心部は蔵の街並みが残るほか、周辺部では農業が盛んで、米、ビール麦、ぶどう、イチゴなどの生産量は県内トップクラスを誇ります。また、市民活動も盛んで、週末には各団体によるイベントが多数開催されています。中でも2年に一度開催される「とちぎ秋まつり」は、絢爛豪華な江戸型人形山車が蔵の街を巡行する、栃木市最大のイベントです。



NPO法人
嘉右衛門町伝建地区
まちづくり協議会
遠藤 百合子 さん



ご当地ビール



巴波川と歌麿道中

浅草発、さのちゃり!!

●分科会内容

サイクルタウンさの推進委員会は、佐野市北部の中山間地域を「奥佐野」と命名し、自転車をツールに奥佐野地域の活性化と魅力を発信するべく活動しています。今回のプログラムでも、サイクリングをしながら奥佐野の魅力を堪能していただけます。

1日目は、東武鉄道の協力のもと、東武浅草駅からの臨時列車に乗り、佐野へお越しいただき、蕎麦打ち体験や日本名水百選に選ばれた出流原弁天池に立ち寄り、透明度抜群の池のほとりでB級グルメ「いもフライ」を堪能していただけます。また、夜の交流会では栃木県最古の酒蔵「第一酒造」の日本酒をご堪能ください。

2日目は、佐野らーめんの青竹打ち体験後、佐藤姓の始まりの地である唐沢山城跡の散策していただけます。その後、昼食に佐野らーめんをご堪能ください。サイクリングと食を楽しむ2日間となっておりますので、ぜひご参加ください。

●参加に係る注意点

- ▶ 下り基調のコース(約27km)を自転車で移動します。また散策がありますので、動きやすい服装、靴でご参加ください。
- ▶ 自転車とヘルメットは貸し出します。なお、自転車の持ち込みは可能ですが、輪行袋に入れてご持参ください。
- ▶ 雨天時は全行程バスでの移動となります。

●地域の特色

佐野市は栃木県の南西部、関東平野の北端に位置し、清らかな水と美しい緑の自然環境に恵まれており、良質な水で作る「佐野らーめん」が名物です。また、国の指定史跡である「唐沢山城跡」、一千年の歴史を持つ「天明鋳物」といった薫り高い歴史や伝統文化が栄える街です。市北部の中山間地域(通称:奥佐野)は、関東平野と山間地の境目に位置し、山々に囲まれ自然豊かで起伏に富んだ地形はサイクリングに最適な環境です。



唐沢山城跡



佐野らーめん

第4分科会 佐野市

【分科会会場】

蓬山レストラン、出流原弁天池、
唐沢山城跡、
道の駅どまんなかたぬま ほか

【宿泊場所】

仙水閣

【募集人数】 20人

【参加者経費】 21,000円

【分科会スケジュール】

1日目

- 9:30 東武浅草駅集合
- (12:00) 葛生駅集合(臨時列車に乗りしない場合)
- 13:00 蓬山レストラン(蕎麦打ち体験、昼食)
- 14:00 サイクリング
- 15:30 出流原弁天池
- 17:00 ホテルチェックイン
- 18:00 交流会

2日目

- 9:00 ホテル出発
- 9:30 青竹打ち体験
- 12:00 唐沢山城跡散策
- 13:30 佐野らーめん 佐よし(昼食)
- 15:00 道の駅どまんなかたぬま(買い物)
- 16:00 分科会場出発
- 18:00 全体交流会

※諸事情によりスケジュールは変更になる場合があります。



サイクルタウン
さの推進委員会
石川 和弘 さん



第5分科会 鹿沼市

【分科会会場】

菊沢コミュニティセンター、
自然体験交流センター、
スノーピーク鹿沼、
まちの駅 新・鹿沼宿 ほか

【宿泊場所】

HOTEL R9 The Yard アクロスプラザ鹿沼

【募集人数】20人

【参加者経費】16,500円

【分科会スケジュール】

1日目

12:00 JR宇都宮駅東口集合
13:00 『スマイルきくさわ』事例紹介
15:15 新・鹿沼宿周辺のまちなか散策
17:00 ホテルチェックイン
18:00 交流会

2日目

9:00 ホテル出発
9:30 『板荷畑いつくし美会』事例紹介
10:40 そば打ち体験
11:40 昼食(そば)
13:00 南摩ダム、
スノーピーク鹿沼見学
15:15 組子コースターづくり体験
17:00 宇都宮駅 到着・分科会終了
18:00 全体交流会

※諸事情によりスケジュールは変更になる場合があります。

『シニア サポート モビリティ』と 『耕作放棄地で生まれる至極の慈しみそば』

●分科会内容

1日目は、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく住み続けられるよう、外出が困難な高齢者を支える地域移送サービスを行う「スマイルきくさわ」について紹介します。当サービスの利用者との交流を通して作り上げた「スマイル音頭」を一緒に踊っていただくことで、地域の温かさにも触れていきます。

2日目は、耕作放棄地などの中山間地域特有の課題解消に向けた取組から、人と資源を活用した「次世代へ繋げる地域づくり」に発展させ、実践している事例をご紹介します。地元で生産したそばを使用したそば打ちを体験していただくとともに、出来立てのそばをご賞味いただきます。

他にも、本市の名産である「木工」や新たな観光資源となった「ダム」関連施設なども併せて紹介いたします。本市が有する魅力を余すことなく五感で味わっていただける内容としておりますので、皆様のご来訪を楽しみにしております。

●参加に係る注意点

- ▶ 散策、そば打ち体験がありますので、動きやすい服装でご参加ください。
- ▶ そばが苦手な方や食べ物にアレルギーがある方は、事前にお知らせください。

●地域の特徴

鹿沼市は、関東一の清流といわれる「大芦川」など数々の清流に恵まれた豊かな自然と、ユネスコ無形文化遺産にも登録されている絢爛豪華な彫刻屋台が繰り出す「鹿沼今宮神社祭(いまみやじんじゃさい)の屋台行事」など、自然と文化に彩られた美しいまちです。

全国有数のいちごの産地であることから、2016年から「いちご市」を宣言し、「いちごのまち」として親しんでいただければ幸いです。



スマイルきくさわ
会長
紺野 勝寛 さん



板荷畑いつくし美会
代表
福田 守 さん



今宮神社祭



思わず笑みがこぼれるいちご



繁栄の「光と影」から掘り起こす、 地域資源の活かし方

●分科会内容

本分科会では、「足尾エリア」と「日光エリア」のまちづくりをご案内します。

足尾エリアでは、日本一の銅山として日本の近代化を支えた足尾銅山の産業遺産の活用や、繁栄の影で失われた森林の再生に取り組むまちづくりを体験していただきます。

日光エリアでは、世界遺産「日光の社寺」などの観光地に隠れがちな「門前町の歴史」を活かしたまちづくりをご紹介します。ガイドブックには載らない“まちなか”にスポットを当てたガイドツアー「日光ぶらり」を体験していただき、日光の奥深さに迫ります。

●参加に係る注意点

- ▶ 本分科会のプログラムでは、世界遺産「日光の社寺」(日光東照宮、日光山輪王寺、日光二荒山神社等)を巡る内容は含まれておりません。「日光の社寺」を拝観する場合は、前泊又は後泊をお勧めします。また、紅葉シーズンのため大変な混雑が予想されますのであらかじめご了承ください。
- ▶ 宿泊は2~4名の相部屋となります。

●地域の特徴

日光市は栃木県の北西部に位置し、県土の約4分の1を占める日本で3番目に広い市です。世界遺産「日光の社寺」をはじめとする観光名所や鬼怒川温泉など随所に湧出する豊富な温泉が魅力です。また日光連山から湧き出る良質な水によって作られる地場産品(そば、地酒、湯波など)は、どれも絶品です。



紅葉に映える神橋



厚みと弾力が特徴の日光の湯波



足尾まるごと
井戸端会議
前代表
山田 功 さん



NPO法人日光門前
まちづくり
理事長
岡井 健 さん

第6分科会 日光市

【分科会会場】

足尾銅山観光、日光門前東町地区 ほか

【宿泊場所】

四季の彩りに風薫る足尾の宿かじか

【募集人数】15人

【参加者経費】19,000円

【分科会スケジュール】

1日目

12:30 東武日光駅集合
13:30 足尾銅山の歴史と環境学習
・森林再生の取組
・産業遺産見学
18:30 宿チェックイン
19:00 交流会

2日目

8:15 宿出発
9:00 まちあるきツアー
11:30 昼食
12:30 まちづくりに関する意見交換会
14:00 世界遺産地区周辺自由散策
16:00 日光出発
18:00 全体交流会

※諸事情によりスケジュールは変更になる場合があります。



第7分科会 小山市・下野市

【分科会会場】

いちごの里、西堀酒造、
天平の丘公園 ほか

【宿泊場所】

アイホテル小山

【募集人数】 20人

【参加者経費】 19,000円

【分科会スケジュール】

1日目

13:00 JR小山駅東口集合
13:40 オリエンテーション
(PLAN OYAMAの説明等)
14:40 いちごの里でいちご摘み体験
16:40 須賀神社でご祈祷
17:30 ホテルチェックイン
18:30 交流会 (いちごの里)

2日目

7:00 ホテル出発
7:30 熱気球搭乗体験
9:20 西堀酒造
11:00 昼食
12:30 古民家カフェ
「10picnic tables」
13:30 吉田村Village
14:25 道の駅 しもつけ
15:15 シェアスペースWEL
18:00 全体交流会

※諸事情によりスケジュールは変更になる場合があります。

「何もない!？」から始まった 地域づくりのアレやコレ!!

●分科会内容

「暮らしやすいけど、何もない。」と言われる地域ですが、地域資源を見直し、新たな魅力づくりに取り組んでいます。

小山市では、人と人、都市と田園をつなぐ官民連携プラットフォームが、小山の美味しいと楽しいをご案内します。年間約25万人が訪れる観光農園「いちごの里」、今年から蒸留酒に本格デビューをする日本酒造「西堀酒造」、地上15mまで昇るバルーン体験搭乗、家康が関ヶ原へ向かう決断と戦勝祈願をした「須賀神社」を巡ります。下野市では、史跡が遺る公園に立つ古民家を、誰もが気軽に集える拠点にリノベーションした地域活性化の取り組みや、国登録有形文化財に認定された築80年の大谷石蔵を活用した農泊（農家民泊）施設「吉田村Village」を中心に、地域住民と共にすすめるコミュニティづくりを紹介します。



PLAN OYAMA
プラットフォーム
渡邊 正道 さん



一般社団法人
シモツケクリエイティブ
山口 貴明 さん

●参加に係る注意点

- ▶ 熱気球の搭乗は希望制になります。搭乗やバルーンフェスタの見学をしない方の2日目のスタートは西堀酒造からになります。
- ▶ 動きやすい格好でお越しください。
- ▶ 熱気球搭乗体験は雨天や強風等により中止になる場合がございますので、ご注意ください。

●地域の特徴

小山下野地域は、古墳時代から飛鳥・奈良時代にかけての東国を代表する史跡などが多数遺っており、また、江戸時代には日光街道の宿場町として栄えるなど、古来より暮らしやすい地域でした。現在も、関東平野が育んだ豊かな土壌と穏やかな気候により、小麦をはじめ、いちごやお米など、一年中新鮮で美味しい作物が育ちます。また、おやま和牛など独自ブランドの畜産も行われています。



須賀神社



10picnic tables

人づくり×つながりづくり×地域づくり ～「まちつく」の取組から～

●分科会内容

真岡市では2021年から、高校生や大学生、地域の大人たちがまちづくり社会実験に取り組む、真岡まちづくりプロジェクト「まちをつくろう」（通称「まちつく」）によって、地域の活性化が図られています。この「まちつく」は、自分たちが住みたいまちをつくる、その取組として、もったいない公共空間の活用や、子どもたちに勉強を教える寺子屋など、多岐に渡る取組を行っています。皆さまには、これまで4年間の取組紹介と、そのアイデアだしのなどのワークショップ体験をしていただきます。

また、2025年1月に開館した複合施設monaca（図書館、子育て支援センターなど）による新しい取組だけでなく、二宮尊徳が最初に赴任した場所でもある旧・二宮町の桜町陣屋の見学、そしていちご生産日本一の地域にあるいちご農家を見学いただき、これまでのまちづくり、地域づくりの取組も見学いただきます。



真岡まちづくりプロジェクト
林 大輔 さん

●地域の特徴

真岡市は、二宮尊徳（通称：二宮金次郎）が小田原藩からの命を受けて最初に赴任した土地として有名で、令和4年に「いちご王国とちぎの首都もおか」を宣言した、いちご生産量が日本一のまちです。

中心市街地をSLが走り、江戸時代から続く伝統工芸の真岡木綿、温泉やいちご狩りなどの屋外レジャーが楽しめる「いがしらリゾート」など多くの地域資源を有しています。



まちづくりワークショップ



生産量日本一のいちご（とちあいか）

第8分科会 真岡市

【分科会会場】

真岡市複合交流拠点施設「monaca」、
まちづくり拠点コレカラ、尊徳資料館 ほか

【宿泊場所】

ビジネスホテル エンドレス

【募集人数】 15人

【参加者経費】 15,000円

【分科会スケジュール】

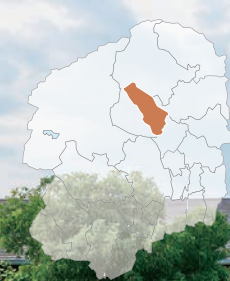
1日目

12:30 JR宇都宮駅東口集合
13:30 まちつくのワークショップ体験
複合交流拠点施設「monaca」見学
15:50 宿泊先到着
16:15 門前エリアのまちあるき
17:00 交流会 (お好み焼きARIGATO)
19:30 各自ホテルへ

2日目

7:30 ホテルロビー集合
7:45 朝食
まちづくりの取組×まちづくり
拠点コレカラ
8:50 いちご農家の見学
9:35 二宮尊徳資料館の見学
10:30 真岡珈琲寺内駅舎の見学
11:30 道の駅にのみや昼食・買い物
13:30 SLキューログ館の見学
Nruc見学
14:40 大前神社見学
16:20 宇都宮駅到着
18:00 全体交流会

※諸事情によりスケジュールは変更になる場合があります。



第9分科会 大田原市

【分科会会場】

トコトコ大田原、笠石神社、
下侍塚古墳、大雄寺 ほか

【宿泊場所】

那須野ヶ原ベルビューホテル

【募集人数】 12人

【参加者経費】 18,600円

【分科会スケジュール】

1日目

13:00 JR那須塩原駅西口集合
13:35 大田原市の紹介
14:20 えんがお活動報告
15:20 中心市街地まちあるき
17:15 ホテルチェックイン
18:00 交流会(地酒紹介)

2日目

8:20 ホテル出発
8:40 笠石神社・下侍塚古墳等散策
11:45 黒羽観光やなにて昼食
12:55 黒羽芭蕉の館見学
13:45 大雄寺見学
14:45 道の駅那須与一の郷・
那須神社見学
18:00 全体交流会

※諸事情によりスケジュールは変更になる場合があります。

古代から現代へ 人が輝く 生涯活躍できるまちづくり

●分科会内容

国内最大級の扇状地「那須野が原」に位置する大田原市は、その肥沃な土地と河川や豊かな湧水によって、石器時代から人が暮らしていた形跡が見られます。古墳時代に造られた日本一美しい古墳とも称される「下侍塚古墳」、日本三古碑の1つで国宝の「那須国造碑」といった文化遺産を散策しながら、地域へ人を呼び込む活動をご紹介します。

一方、現代においては、人とのつながりの希薄化から生じる孤立・孤独といった問題に対応するため、多くの若者を巻き込みながら、子供から高齢者まで障害の有無に関わらず、すべての人が日常的に関われる「ごちゃまぜの地域づくり」の様子もご紹介し、交流を深めていただきます。

関東一の米、鮎、市内三蔵の地酒もご堪能ください。



一般社団法人
えんがお
代表理事
濱野 将行 さん

●参加に係る注意点

- ▶ 2日目は散策がありますので、動きやすい服装でご参加ください。
- ▶ 鮎が苦手な方や食べ物にアレルギーがある方は、事前にお知らせください。

●地域の特徴

「大田原」の由来は「大俵」とであると言われるほど稲作が盛んで、その他にも全国有数の収穫量を誇る「梨」、生産量日本一の「唐辛子」が自慢です。

平家物語の「扇の的」で有名な那須与一の生誕地であり、俳聖松尾芭蕉が「おくのほそ道」の紀行中、最長となる14日間逗留した地でもあることから、それぞれに関係する名所が多く残る歴史の趣深いまちです。江戸時代には、大田原、黒羽等の城下町として栄え、現代においても、栃木県北部地域の商業施設、工場等の集積地として機能しています。



全国有数の収穫量を誇る「梨」



生産量日本一の「唐辛子」



鮎の塩焼き

矢板市が挑む!資源再活用の これからの新しい地域づくり

●分科会内容

矢板市では企業跡地や廃校、ゴルフ場跡地などの地域資源の利活用が進んでいます。本分科会では、それらの施設を実際に見学しながら学ぶプログラムをご用意しております。

1日目には書店を再活用した行政が地域おこし協力隊と運営している「矢板ふるさと支援センターTAKIBI」やワーケーション施設「スローワーク矢板」、また町の中心にある元野球場を再活用した長峰公園を見学し、廃校利活用の施設にて地域プレイヤーとの交流会を企画しております。2日目にはゴルフ場の再活用事例として「58口ハスクラブ」、工場の再活用事例として「デカーレ矢板」を見学していただきます。

ぜひ矢板市の分科会にご参加いただき、資源利活用の実態を体感してみてください!



有限会社手塚武商店
手塚 将之 さん

●参加に係る注意点

- ▶ 男女別の大部屋で相部屋となります。ご注意ください。

●地域の特徴

矢板市は、その約60%が山で構成され、日光国立公園の高原山を有し自然豊かで林業の盛んな地域です。日本遺産に指定されているりんご園や山縣有朋記念館などがあり、また市街地はシャープがあった企業城下町として栄えた町です。



おしらじの滝



矢板のりんご

第10分科会 矢板市

【分科会会場】

ふるさと支援センターTAKIBI、
ミツモチ小学校 ほか

【宿泊場所】

ミツモチ小学校

【募集人数】 20人

【参加者経費】 14,500円

【分科会スケジュール】

1日目

13:00 JR矢板駅集合
13:10 オリエンテーション
14:10 スローワーク矢板(書店再活用)
15:10 長峰公園(野球場再活用)
16:30 ミツモチ小学校(宿泊場所)
19:00 交流会(地元食材BBQ)

2日目

9:00 ミツモチ小学校出発
9:15 道の駅やいた
10:30 58口ハスクラブ(ゴルフ場再活用)
11:30 ビュッフェランチ
13:30 地域づくりを行う学生団体との交流
16:00 デカーレ矢板(工場再活用)
18:00 全体交流会

※諸事情によりスケジュールは変更になる場合があります。



第11分科会 那須塩原市

【分科会会場】

那須塩原市図書館みるる、
道の駅「明治の森・黒磯」、
千本松牧場 ほか

【宿泊場所】

那須ミッドシティホテル

【募集人数】 15人

【参加者経費】 16,000円

【分科会スケジュール】

1日目

13:00 JR黒磯駅西口集合
13:10 団体紹介(ART369)
14:00 黒磯エリア散策
16:00 道の駅明治の森・黒磯
17:20 宿泊先チェックイン
18:00 交流会

2日目

8:10 宿泊先出発
9:00 美術館鑑賞
10:40 千本松牧場散策
12:00 昼食
13:10 アート体験/塩原散策
15:00 ディスカッション
18:00 全体交流会

※諸事情によりスケジュールは変更になる場合があります。

扇状地に広がる自然とコミュニティで 沸き起こるアートなまち

●分科会内容

雄大な自然と歴史が織りなす那須塩原の魅力を満喫しながら、本市のパーパス“好きを、編む。”が体现された様々なまちづくりを感じていただく2日間です。

まずは、那須塩原市の顔でもある那須塩原市図書館みるるを会場に、我々ART369プロジェクトについて知っていただきます。その後は、本プロジェクトの拠点でもある板室街道沿いのアート施設や、“SHOZO cafe”を中心とした、こだわりのあふれる個人店が集まる黒磯エリアを散策していただきます。

2日目は、現代アートを取り入れたユニークな温泉宿として知られる「板室温泉 大黒屋」からスタートし、千本松牧場で自然を満喫。その後は塩原エリアへ移動し、ご当地グルメを堪能いただき、もみじ狩り、温泉の足湯で癒されながら、最後はアートのワークショップ、参加者の皆さまとまちづくりについて考えるディスカッションで締めくくります。今までにありそうでなかった貴重な体験を那須塩原で味わいませんか。

●地域の特徴

四季折々の美しい自然と、歴史ある温泉郷、高原野菜やブランド牛などのグルメ、都内からの好アクセス、全てを感じながら、さりげなくそこにあるアートに触れられるまちです。



那須塩原市
ART369プロジェクト
実行委員会
樋爪 克至 さん



生乳産出額全国2位のまち



旧青木家那須別邸

里山の恵みを活かしたまちづくり 「しあわせの、自給自足。」

●分科会内容

耕作放棄地の解消と地域内での雇用確保を果たした「そばの里まぎの」や「道の駅もてぎ」、世界レースの開催地である「モビリティリゾートもてぎ」、町独自のリサイクルシステムを構築した「美土里館」等にご案内します。

1日目には、そばを使用したスイーツを食べながらそばの里まぎのの取組紹介、2日目には、そば打ち体験、ご自身が打ったそばと鮎・地元産野菜の天ぷらの昼食をご用意し、モビリティリゾートもてぎでは世界レースに使用するコースをバスで走行します。

里山の恵みを活用し、都市部にはない豊かな暮らしを実現する「しあわせの、自給自足。」の取組みをご覧ください。



そばの里まぎの
石川 修子 さん

●参加に係る注意点

- ▶ そばアレルギーの方は、参加をご遠慮ください。
- ▶ 2日目のそば打ち体験は1組4名程度で実施します。他の参加者の方と一緒に打ったそばを昼食として食べていただきます。
- ▶ 宿泊は2～4名の相部屋となります。

●地域の特徴

茂木町は、豊かな自然に囲まれた、昔ながらの里山風景の残る町です。「道の駅もてぎ」や「モビリティリゾートもてぎ」は、町を代表する施設で、年間を通して多くの方が訪れます。道の駅もてぎの大人気商品「完熟いちご」や道1グランプリで殿堂入りを果たした「ゆず塩ラーメン」、米粉で作る「バウムクーヘン」、町内を流れる那珂川の「鮎」、地元産そばを使用した「そば焼酎」等、「うまいもの」が沢山あります。



モビリティリゾートもてぎ



清流那珂川の鮎を使用「鮎天そば」

第12分科会 茂木町

【分科会会場】

そばの里まぎの、美土里館、
ふみの森もてぎ、道の駅もてぎ ほか

【宿泊場所】

モビリティリゾートもてぎホテル

【募集人数】 20人

【参加者経費】 19,500円

【分科会スケジュール】

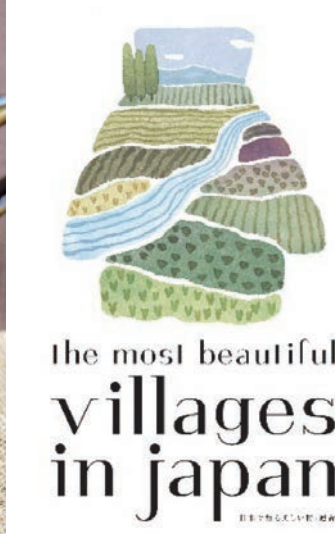
1日目

12:30 JR宇都宮駅東口集合
13:45 そばの里まぎの取組紹介
15:10 美土里館見学
16:10 ふみの森もてぎ見学
17:00 ホテルチェックイン
17:30 交流会(そば打ち実演)

2日目

8:30 モビリティリゾートもてぎ見学
10:30 そばの里まぎのそば打ち体験
12:00 昼食
13:00 道の駅もてぎ見学・買物
15:00 道の駅もてぎ出発
16:00 宇都宮駅到着
18:00 全体交流会

※諸事情によりスケジュールは変更になる場合があります。



第13分科会 那珂川町

【分科会会場】

小砂焼体験センター（陶遊館）、
小砂里山芸術の森、飯塚邸 ほか

【宿泊場所】

東家温泉ホテル

【募集人数】 20人

【参加者経費】 20,000円

【分科会スケジュール】

1日目

12:40 JR宇都宮駅東口集合・出発
14:00 ロクロ体験
15:30 美しい村づくりの取り組み紹介
16:30 小砂里山芸術の森
17:00 宿泊先着 元湯「東家」
交流会 夜なべ談義

2日目

8:15 宿泊先集合・出発
8:45 イノシシ肉加工場
9:10 ホテル「飯塚邸」
10:40 バイオマス発電所、
ウナギの養殖場
11:50 昼食 御前岩物産センター
13:20 マンゴー・コーヒー栽培
(バイオマス温熱利用)
14:00 道の駅「ばとう」
宇都宮市へ移動
16:00 宿泊先着
18:00 全体交流会

※諸事情によりスケジュールは変更になる場合があります。

世界でただ一つの陶芸にチャレンジ・ 農家民泊、棚田オーナークラブで地域づくり

●分科会内容

小砂village協議会は、小砂地区が2013年10月に栃木県で唯一、NPO法人「日本で最も美しい村」連合に加盟したことを契機に設立しました。里山の美しい景観を生かした地域づくりとして、「小砂棚田オーナークラブ」「農業体験を通した農家民泊」、地元のお母さんたちが地元産食材を活用した「お母ちゃんCafé」などの活動をご紹介します。また、首都圏の美大生が中心となって里山を美術館に見立てたアートプロジェクトもっており、展示品の作品も鑑賞いただけます。

また、小砂焼は、江戸時代から続く(170年)伝統ある焼物で金結晶の色彩が特徴の陶器です。参加者の皆さんには、ロクロによる世界でただ一つだけの陶器制作にチャレンジしていただきます。那珂川町に来て「こでらんねえ!」体験をしてみたいはいかがでしょうか。



小砂village協議会
事務局長
藤田 悦男 さん

●参加に係る注意点

▶スケジュールには地域を散策する内容も含まれますので、動きやすい靴での参加をお願いします。

●地域の特徴

小砂地区は、那珂川町の北部に位置し、森林豊かな山里で、地域のブランド米「ホタル米」を栽培しています。また、古くから続く窯元が集まっている陶芸の里でもあります。町内には、隈研吾氏設計の馬頭広重美術館や国の登録文化財(豪商町屋)をリノベーションした飯塚邸、那須官衙遺跡、手打ち蕎麦、鮎の塩焼き、和菓子、温泉など芸術や文化、癒し、おいしいものなどいろいろ楽しめる町です。



小砂里山芸術の森



お母ちゃんCafe



小砂焼体験

第41回地域づくり団体全国研修交流会栃木大会

《研修交流会(分科会・全体交流会・全大会)、大会2日目宿泊プラン 申込のご案内》

下記大会申し込みサイトに掲載している「募集要項」を必ずご一読の上、手順に従ってお進みください。

申し込みサイト：<https://sec.tobutoptours.co.jp/web/evt/chiiki-tochigi/>



※原則として申し込みサイトのみの受付ですが、インターネット環境がないなど、ご利用が困難な方はFAXでの申し込みを受け付けます。申し込み前に、申し込みサイトに掲載されている「旅行条件書」を必ずご一読の上、FAX申込用紙をダウンロードし、お申し込みください。

申込受付期間：令和7年7月1日(火)9:30～8月18日(月)23:59

※予約の確認・変更・取消は申し込みサイトより可能です。詳細は25ページ目でご確認ください。

※各県の交流を図るためにも、県や団体等でまとめて分科会にお申し込みされる際には、同一の分科会に偏らないよう、できるだけ分散してお申し込みくださいますようお願い申し上げます。

※定員に達した分科会は、受付期間終了前に受付を終了する場合がございます。

申込専用サイトからの申し込みの流れ

STEP
1

新規利用登録

各種申し込みに先立って「新規利用登録」が必要です。画面右上の「はじめての申込はここをクリック」を押し、「新規利用登録」を行います。団体でお申し込みの方は、団体名でご登録ください。「個人情報保護規定」をご一読いただき、同意をされますと、代表者申込者登録画面に進みます。代表者(申込者)の個人情報を登録してください。
※新規登録が完了すると確認メールが流れますが、予約は完了していません。

STEP
2

システムへのログイン

個人情報を登録された代表者(申込者)はID(メールアドレス)、パスワードにより、いつでもサイトにログインすることができます。

STEP
3

参加登録・分科会登録・ホテル予約

ログイン後、自分を含めた他のメンバーの参加登録・分科会登録・ホテル予約が可能になります。登録完了後、受付確認メールが自動送信されます。
※受付確認メールが届かない場合は、「完全に登録が終了していない」もしくは「登録いただいたメールアドレスが間違っている」場合がありますので、ご確認ください。
※分科会は第1～3希望までご希望を承ります。事務局にて各分科会へ割り振りを行いますので、ご希望に添えない場合がございます。あらかじめご了承ください。結果は段階的に7月下旬から9月中旬までにご登録のメールにて送付します。

STEP
4

予約の確認・変更・取消

マイページより、「予約の確認・変更・取消」が可能です。

STEP
5

お支払い[支払い期限:2025年10月10日(金)23:59まで]

支払いボタンをクリック後、支払い内容を確認し、支払いをする項目を選択後、下部の支払いボタンをクリックしてください。お支払い方法は、振込、クレジット決済からお選びいただけます。振込の場合は請求書が発行されますので、下部に記載の口座にお振込みください。

STEP
6

領収書等の発行

お支払い後、ご自身で出力の上、当日ご持参ください。また領収書のダウンロード・印刷が行えます。領収書は発行ボタンを押下後、一度しか発行されませんので、ご注意ください。

お申し込み・お問い合わせ先

〈栃木大会参加申し込み事務局〉

【旅行企画・実施】東武トップツアーズ株式会社 宇都宮支店

観光庁長官登録旅行業第38号 (一社)日本旅行業協会正会員 ボンド保証会員

〒320-0026 栃木県宇都宮市馬場通り2-1-1 メットライフ宇都宮スクエア5F

営業日・営業時間：平日9:30～17:30(休業日：土・日・祝日)

TEL:050-9001-8727 FAX:028-636-7760

メールアドレス：chiiki_tochigi@tobutoptours.co.jp

担当者：鈴木、新井、土方

総合旅行業務取扱管理者 後藤剛



旅行業公正取引
協議会 会員



研修交流会 コース・旅行代金一覧

分科会	分科会 参加経費	全体交流会費	大会参加費	合計
第1分科会（宇都宮市）	21,500円	8,000円	3,000円	32,500円
第2分科会（足利市）	18,900円	8,000円	3,000円	29,900円
第3分科会（栃木市）	19,000円	8,000円	3,000円	30,000円
第4分科会（佐野市）	21,000円	8,000円	3,000円	32,000円
第5分科会（鹿沼市）	16,500円	8,000円	3,000円	27,500円
第6分科会（日光市）	19,000円	8,000円	3,000円	30,000円
第7分科会（小山・下野市）	19,000円	8,000円	3,000円	30,000円
第8分科会（真岡市）	15,000円	8,000円	3,000円	26,000円
第9分科会（大田原市）	18,600円	8,000円	3,000円	29,600円
第10分科会（矢板市）	14,500円	8,000円	3,000円	25,500円
第11分科会（那須塩原市）	16,000円	8,000円	3,000円	27,000円
第12分科会（茂木町）	19,500円	8,000円	3,000円	30,500円
第13分科会（那珂川町）	20,000円	8,000円	3,000円	31,000円

添乗員：添乗員は同行しませんが、行程の一部区間で専門ナビゲーターがご案内いたします。

旅行代金に含まれるもの：交通費（バス代金は除く）、宿泊費（朝食付）、2日目昼食代、体験参加費等、分科会交流会費

旅行代金に含まれないもの：バス代金は大会業務委託費より負担します。

申し込み後の変更・取消について

研修交流会、大会2日目の宿泊の変更及び取消は、申し込みサイト「予約確認・変更」ページよりご自身にて手続きをお願いいたします。FAXでお申し込みの方は、FAX書面でお申し出ください。申し込み受付期間後8月19日以降は、お問い合わせフォーム、メール、FAXで変更・取消の旨をお申し出ください。電話での受付はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

○分科会・全体交流会・大会参加費において一部の取消はできませんのでご注意ください。

○契約成立後に解除される場合は、下記の取消料を申し受けます。

○大会2日目11月8日（土）の宿泊について、ご宿泊当日12時までに取消の連絡がない場合は無連絡不参加として取り扱い、100%の取消料を申し受けます。

○大会2日目宿泊プラン：11月8日（土）は支店の休業日にあたるため、当日の取消については各宿泊施設に直接ご連絡ください。

《研修交流会、大会2日目11/8（土）宿泊プラン 取消料》

取 消 日	取 消 料
旅行開始日の前日から起算して遡って20日目から8日目まで	旅行代金の20%
旅行開始日の前日から起算して遡って7日目から2日目まで	旅行代金の30%
旅行開始日前日の解除	旅行代金の40%
旅行開始日当日の解除	旅行代金の50%
旅行開始後の解除又は無連絡不参加	旅行代金の100%

個人情報の取り扱いについて

旅行申し込みの際に提出いただいた個人情報について、お客様との間の連絡のために利用させていただく他、お客様がお申込みいただいた旅行において運送、宿泊機関、手配代行者等の提供するサービスの手配及びそれらのサービスの受領のための手続き、並びに大会運営に必要な範囲内で、当社および大会事務局が共同利用させていただきます。

大会2日目11月8日（土）～宿泊のご案内～

宿 泊 設 定 日：2025年11月8日（土）

旅 行 代 金：お一人様1泊あたり（税金・サービス料込）

食 事 条 件：朝食付き（食事不要の場合でも返金はありません）

最少催行人員：1名

添 乗 員：同行いたしません

宿泊施設

地図 番号	ホテル名	部屋タイプ	旅行代金 （1泊朝食付き）	アクセス JR宇都宮駅からの所要時間
①	ホテルニューイタヤ	シングル 禁煙・喫煙	12,000円	徒歩5分
②	ホテル・ザ・セントレ宇都宮	シングル 禁煙	11,000円	路線バスで8分
③	ホテル丸治	シングル 禁煙	11,000円	路線バスで10分

○個人勘定及びそれに伴うサービス料、消費税は各自でご精算をお願いいたします。

宿泊施設の駐車場が必要な場合は宿泊施設にお問い合わせください。

○お部屋の数には限りがございます。満室になり次第、申し込みを締め切らせていただきます。

○宿泊は東武トップツアーズ（株）の募集型企画旅行です。

①ホテルニューイタヤ

所在地／〒320-0811

栃木県宇都宮市大通り

2丁目4-6

TEL／028-635-5511



②ホテル・ザ・セントレ宇都宮

所在地／〒320-0033

栃木県宇都宮市本町4-11

下野新聞ビル3F

TEL／028-625-1151



③ホテル丸治

所在地／〒320-0034

栃木県宇都宮市泉町1-22

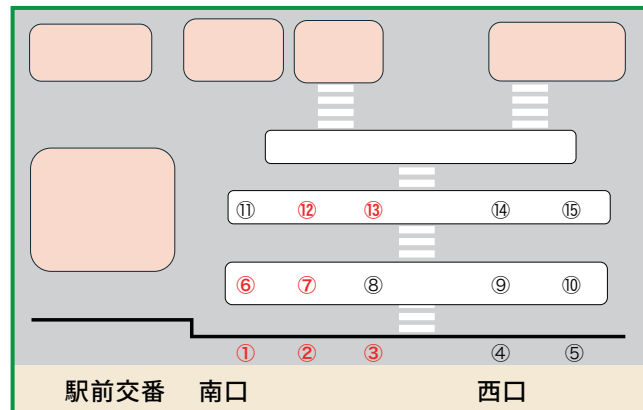
TEL／028-621-2211



宇都宮駅周辺MAP [全体交流会・全体会会場]



JR宇都宮駅西口路線バス乗り場



JR宇都宮駅から 栃木県総合文化センターへのアクセス

バスで「県庁前」下車 徒歩で約3分
またはタクシーで約5分（約1,600m）

路線バス利用の場合は、
①②③⑥⑦⑫⑬乗り場からご乗車ください。
赤字のバス乗り場から出発するバスは
全て「県庁前」に停車します。



※JR宇都宮駅東口から西口へ
向かうバスはありません。



各地から栃木県へのアクセス

鉄道

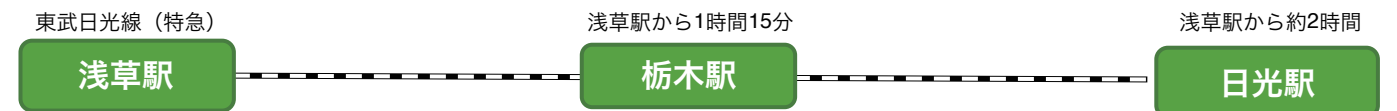
<小山・宇都宮・那須塩原方面>



<足利方面>

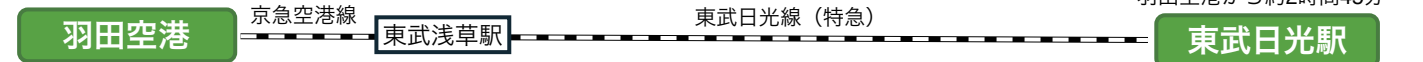


<栃木・日光方面>

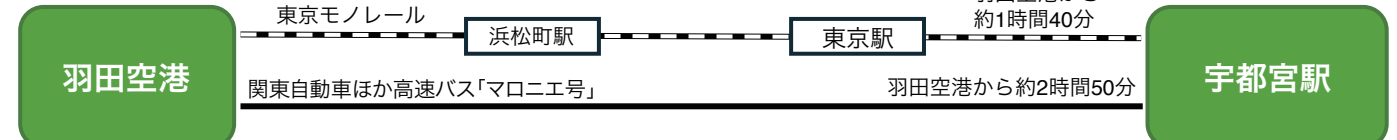


空港

<日光方面>



<宇都宮方面>



車



TOCHIGI

本物の出会い
栃木

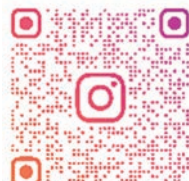
出合いのその先へ



／ 栃木の観光情報は
こちら！



とちぎ旅ネット



Instagram



Ticktok

おいでよ! とちぎ館 OIDEYO! TOCHIGI-KAN “栃木県の観光と県産品の情報館”



栃木県の「観光情報」と「おみやげ」が一堂に!



観光コーナー

《配送承ります》



おいでよ! とちぎ館 へのアクセス



住所 宇都宮市本町3-9 本町合同ビル1階
電話 028-623-3213(代)
FAX 028-623-3942
開館日 月曜日～土曜日(休館日:日曜日・祝日・年末年始)
開館時間 10:00～18:00(土曜日10:00～17:00)
管理運営 公益社団法人 栃木県観光物産協会
<https://www.tochigiji.or.jp/> (とちぎ旅ネット)

11月9日(日)
臨時営業しています

駐車券をご提示ください。駐車料が2時間まで無料になります。